

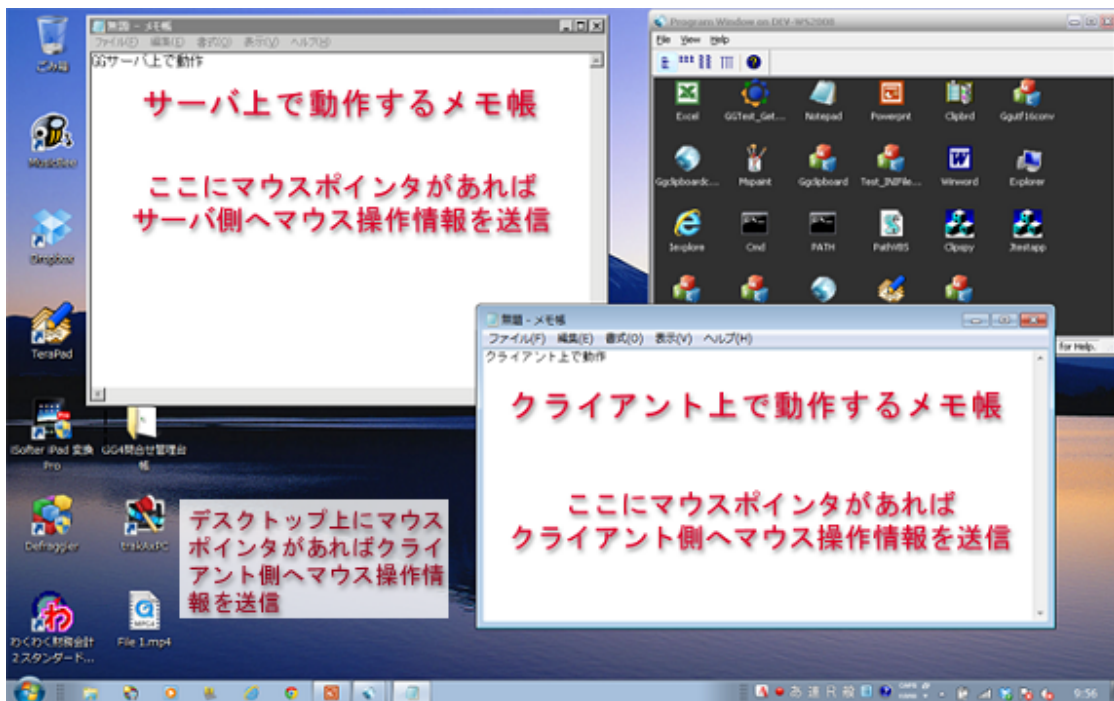
技術ノート KGTN 2012090701

現象

[GGW3.2.1/GGH4.X] マウスのホイールボタンをドラッグして、GG 上で動作するアプリケーションの外側でボタンを離れたところ、スクロール状態が止まらない。

説明

GO-Global for Windows は、サーバ上で動作するアプリケーションとクライアント上で動作するアプリケーションが、画面上に同じように表示されるルースウィンドウ方式を採用しております。ルースウィンドウ方式では、画面上でのマウス操作の情報を、状況に応じてサーバ側とクライアント側へ送信する必要があり、サーバ上で動作するアプリケーションのウィンドウ上にマウスポインタがあればサーバ側へ、クライアント上で動作するアプリケーションのウィンドウ上にマウスポインタがあればクライアント側へマウス操作の情報を送信します。



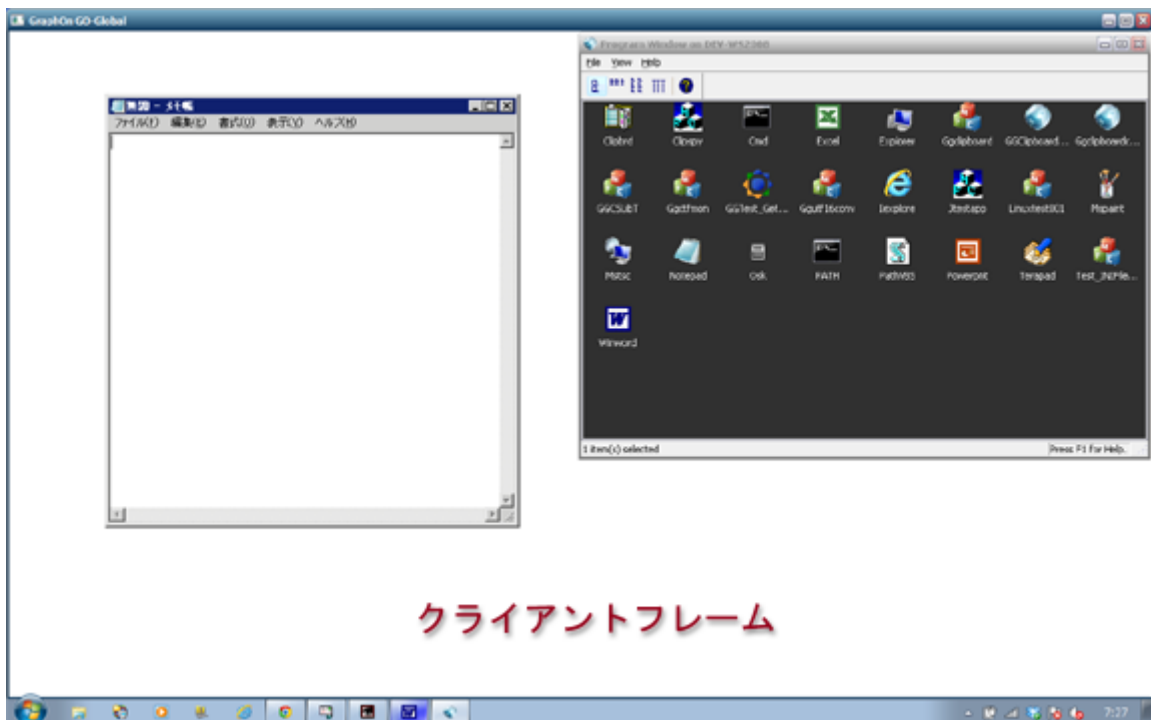
GG サーバで動作するアプリケーションのウィンドウ上でマウスのホイールボタンをドラッグを開始し、その外側でボタンを離れた場合、「ボタンを離れた」というマウス操作の情報は GG サーバではなく、上記動作仕様に基づいてクライアントへ送信されます。この結果、GG サーバに「ボタンを離れた」というマウス操作の情報が届きませんので、スクロール状態が止まらないという状況が発生します。しかし、これは GG の処理方式に基づいた正常な動作（仕様）です。

When the mouse pointer is over a client process window, or the desktop, the GG-client is not involved at all. The client system will send the mouse event directly to the client process. The GG-client only gets the mouse event when the pointer is over a GG-server window. Thus this behavior is by design and not bug.

スクロール状態を止めるには、GG 上で動作するアプリケーションのウインドウ上でマウスのホイールボタンをクリックして下さい。この操作により、サーバ側へ「ボタンを離した」というマウス操作の情報が送信され、スクロールが終了します。

補 足

どうしても GG 上で動作するアプリケーションの外側でマウスのホイールボタンを離したいという場合は、GG のクライアントフレーム機能を併用して下さい（技術ノート KGTN#2011090201 参照）。この機能を利用すると、デスクトップと同じサイズのクライアントフレームが表示され、その中に GG 上で動作するアプリケーションのウインドウが表示されますので、アプリケーションのウインドウ外でマウスのホイールボタンを離しても、サーバ側へ「ボタンを離した」というマウス操作の情報が送信されます（注:クライアントフレームを移動させ、その外側でマウスのホイールボタンを離した場合は、「ボタンを離した」というマウス操作の情報は送信されません）。なお、クライアントフレームのウインドウタイトルの分だけ、描画領域が若干狭くなります。



Last reviewed: Sep 22, 2012

Status: DRAFT

Ref: KGTN#2011090201, KGTN#2011102105, KGTN#2011102109, KGTN#2011110201,

Ref: KGTN#2011110901, KGTN#2011110905, KGTN#2012072001, CASE#32141

Copyright © 2012 kitASP Corporation